

令和5年度 第1回ふくいMa a S協議会

日時 令和5年7月6日（木）

14時00分～15時00分

場所 福井市防災センター2階 多目的ホール

次 第

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

議案第1号 令和4年度 収支決算報告

資料1

議案第2号 令和5年度 収支予算（案）

資料2

議案第3号 今後の取組について

資料3

・令和5年度の取組

・令和6年度以降の取組

4 関係機関の取組について

・ふくアプリの取組について

資料4

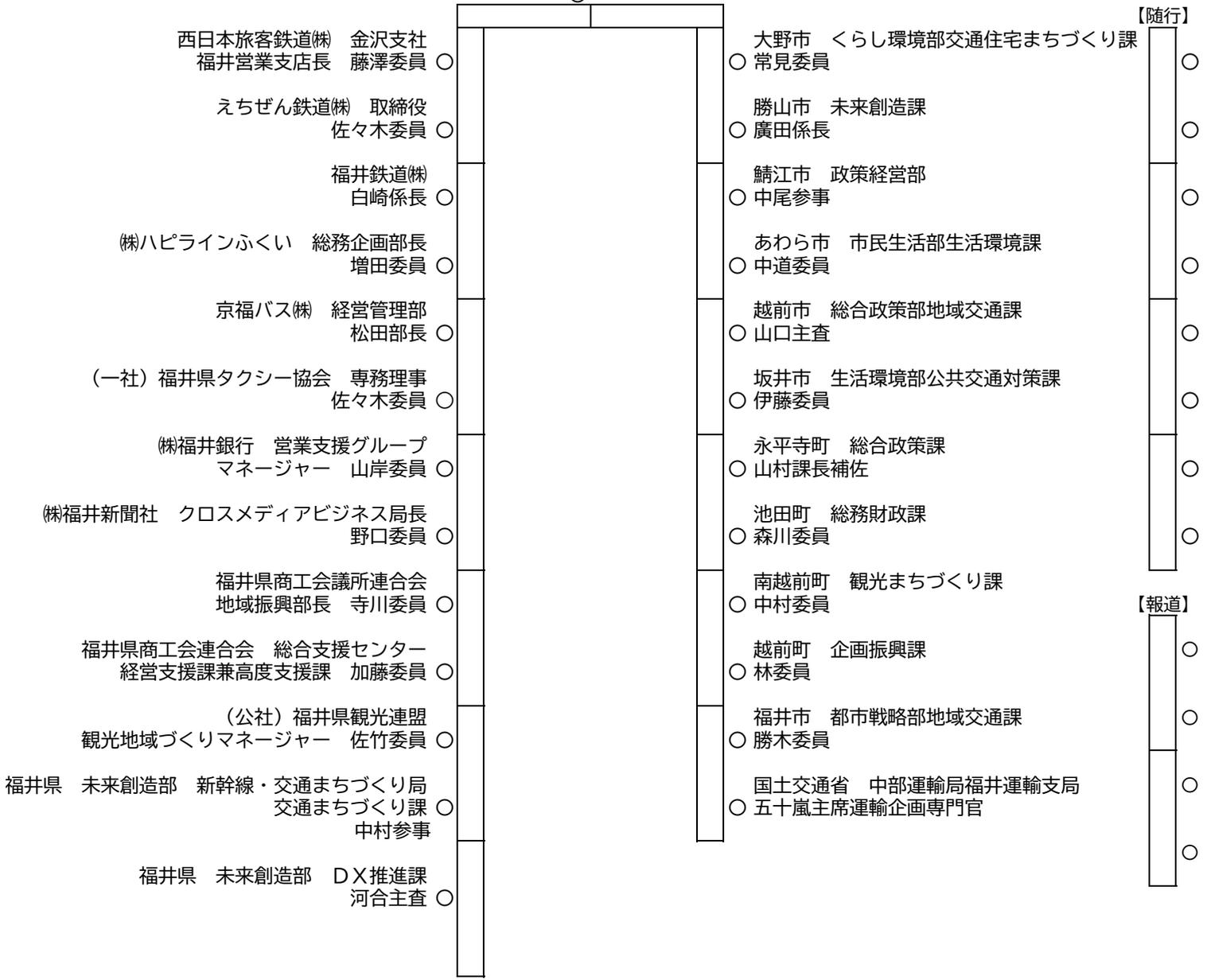
ふくいMa a S協議会 委員名簿

| 区分 | 所属 | 役職 | 氏名 | 役職 |
|--------|------------------------------------|-------------------|---------|----|
| 学識経験者 | 国立大学法人 福井大学 工学部 建築・都市環境工学科 | 講師 | 浅野 周平 | 会長 |
| 交通事業者 | 西日本旅客鉄道(株) 金沢支社 地域共生室営業課 福井営業支店 | 支店長 | 藤澤 大輔 | |
| | えちぜん鉄道(株) | 取締役 | 佐々木 大二郎 | |
| | 福井鉄道(株) | 常務取締役 | 澤崎 幸夫 | |
| | (株)ハピラインふくい 総務企画部 | 部長 | 増田 賢和 | |
| | 京福バス(株) | 取締役 | 矢部 良智 | |
| | (一社) 福井県タクシー協会 | 専務理事 | 佐々木 貞明 | |
| 金融 | (株)福井銀行 営業支援グループ | マネージャー | 山岸 重和 | 監事 |
| マスコミ | (株)福井新聞社 クロスメディアビジネス局 | 局長 | 野口 邦治 | |
| 商業 | 福井県商工会議所連合会 地域振興部 | 部長 | 寺川 直輝 | |
| | 福井県商工会連合会 総合支援センター 経営支援課兼高度支援課 | 課長 | 加藤 剛 | |
| 観光 | (公社)福井県観光連盟 | 観光地域づくり マネージャー | 佐竹 正範 | |
| 行政 | 大野市 くらし環境部 交通住宅まちづくり課 | 課長 | 常見 和正 | |
| | 勝山市 未来創造課 | 課長 | 小林 真紀 | |
| | 鯖江市 政策経営部 | 次長 | 杉本 哲栄 | |
| | あわら市 市民生活部 生活環境課 | 課長 | 中道 和也 | |
| | 越前市 総合政策部 地域交通課 | 課長 | 見延 直子 | |
| | 坂井市 生活環境部 公共交通対策課 | 課長 | 伊藤 剛成 | 監事 |
| | 永平寺町 総合政策課 | 課長 | 清水 智昭 | |
| | 池田町 総務財政課 | 課長 | 森川 弘一 | |
| | 南越前町 観光まちづくり課 | 課長 | 中村 勝典 | |
| | 越前町 企画振興課 | 課長 | 林 康彦 | |
| | 福井市 都市戦略部 地域交通課 | 課長 | 勝木 康史 | |
| 事務局 | 福井市 都市戦略部 地域交通課 | — | | |
| | 福井市 都市戦略部 情報統計課 DX推進室 | — | | |
| オブザーバー | 国土交通省 中部運輸局 福井運輸支局 | 首席運輸企画 専門官 | 五十嵐 重晃 | |
| | 福井県 未来創造部 新幹線・交通まちづくり局 交通まちづくり課 | 課長 | 廣瀬 貴之 | |
| | 福井県 未来創造部 DX推進課 | 参事 | 玉井 久統 | |

令和5年度 第1回ふくいMa a S協議会 座席表

日時 令和5年7月6日(木)
 14時00分～15時00分
 場所 福井市防災センター 多目的ホール

国立大学法人福井大学 工学部
 建築・都市環境工学科
 講師 浅野会長



入口 受付

○ 司会

令和4年度 収支決算

〔 自 令和4年5月18日
至 令和5年3月31日 〕

収入の部

(単位：円)

| 科目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 備考 |
|-------|-----------|-----------|---------|---|
| 負担金 | 3,629,000 | 3,629,000 | 0 | |
| 福井市 | 3,279,000 | 3,279,000 | 0 | 事務負担金 50,000円含む |
| その他市町 | 350,000 | 350,000 | 0 | 大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町(50,000円/市町) |
| 補助金 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 | 福井県 新モビリティサービス推進事業補助金 |
| 売上金 | 0 | 467,250 | 467,250 | 電子企画切符代 |
| 収入合計 | 6,629,000 | 7,096,250 | 467,250 | |

支出の部

(単位：円)

| 区 分 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 備考 |
|----------|-----------|-----------|-----------|--|
| 委託料 | 6,229,000 | 5,460,000 | ▲ 769,000 | ・実証実験(電子企画切符販売)委託料 ・広報委託料、講演委託料 ・アドバイザー委託料 |
| 事務費 | 400,000 | 940,664 | 540,664 | |
| 使用料及び賃借料 | 90,000 | 39,210 | ▲ 50,790 | 会場使用料 |
| 報償費 | 227,000 | 16,500 | ▲ 210,500 | |
| 消耗品費 | 63,000 | 136,804 | 73,804 | コピー用紙、トナー代等 |
| 役務費 | 20,000 | 27,990 | 7,990 | 振込手数料、収入印紙代 |
| 印刷製本費 | 0 | 710,000 | 710,000 | パンフレット、ポスター代 |
| 旅費 | 0 | 10,160 | 10,160 | 金沢市視察 |
| 預り金 | 0 | 467,250 | 467,250 | 売上金の支払 |
| 販売手数料 | 0 | 4,870 | 4,870 | 電子企画切符販売手数料 |
| 支出合計 | 6,629,000 | 6,872,784 | 243,784 | |

■ 当初から追加した費目

収入(7,096,250円)-支出(6,872,784円)=223,466円を次期に繰り越す。

令和5年度 収支予算(案)

〔 自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日 〕

収入の部

(単位：円)

| 科目 | 予算額 | 備 考 |
|--------|------------|--|
| 負担金 | 41,050,000 | |
| 国 | 20,250,000 | 内閣府 デジタル田園都市国家構想交付金 (地方創生推進交付金) |
| 福井市 | 20,250,000 | |
| 事務負担金 | 550,000 | 嶺北11市町 大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、 坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、越前町、 福井市 (50,000円/市町) |
| 前年度繰越金 | 223,466 | |
| 収入合計 | 41,273,466 | |

支出の部

(単位：円)

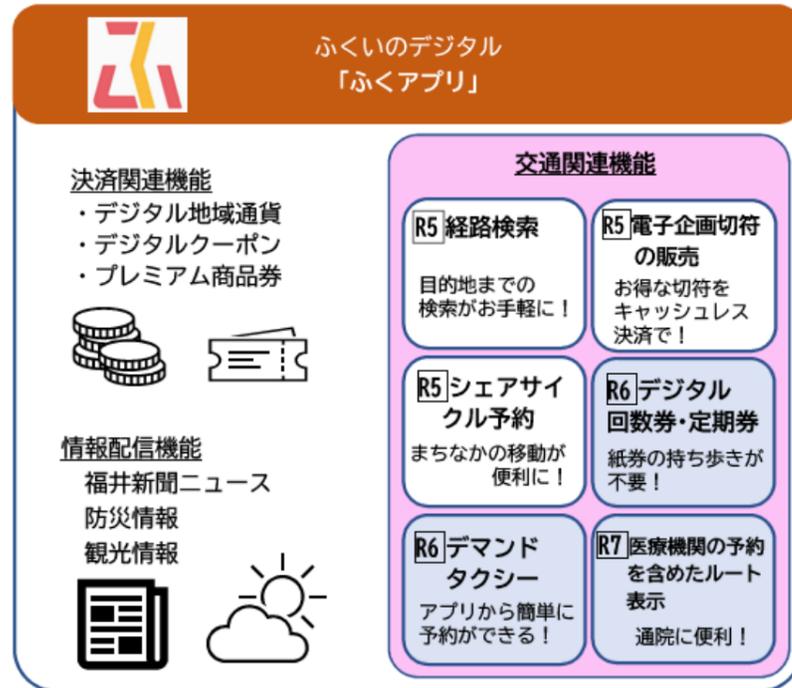
| 区 分 | 予算額 | 備 考 |
|----------|------------|--|
| 委託料 | 40,500,000 | ふくいMaaSアプリ構築費 ・システム開発費 ・広報費 ・ポータルサイト維持管理費 |
| 事務費 | 550,000 | |
| 使用料及び賃借料 | 90,000 | 会場使用料等 |
| 報償費 | 100,000 | 講師謝礼等 |
| 消耗品費 | 200,000 | コピー用紙、トナー代等 |
| 役務費 | 60,000 | 振込手数料、収入印紙代等 |
| 旅費 | 100,000 | 各地視察 |
| 予備費 | 223,466 | |
| 支出合計 | 41,273,466 | |

1 令和5年度の取組

1 ふくアプリと連携した交通関連機能の導入

ふくい MaaS の各種機能は、県民アプリ「ふくアプリ」内に交通関連機能として導入する。

<イメージ図>



ふくアプリと連携するメリット

- ・決済機能開発費の削減(株)ふくいのデジタル側で決済機能を開発するため)
- ・電子企画切符の売上の増加が期待できる
(給付されるデジタル地域通貨での購入が可能になり、利用者の購買力が向上)
- ・広報費の削減(ふくアプリの広報と併せて県内外への幅広い周知が可能になるため)

(1) (株)ふくいのデジタルへの委託内容

| 項目 | 内容 |
|----------|---|
| システム開発費等 | ふくアプリデジタル地域通貨システム接続・開発 ふくアプリインターフェース改修 企画乗車券発券・利用運営システム構築 経路検索外部連携 |
| 運用保守費 | 各種機能運用費用 |
| 広報費 | SNS インフルエンサー宣伝、 ハッシュタグキャンペーン プレスリリース作成・配信 ロゴ、チラシ等共通デザイン作成 |

(2) ふくアプリに実装する主な交通関連機能

①電子企画切符の販売機能

○令和4年度の実証実験結果を踏まえ、以下の切符の販売を検討中

- ・時間制の切符(1日フリーきっぷではなく、利用開始から〇〇時間利用可)
- ・ファミリー層や高齢者向けのお得な切符

⇒地区部会(11市町を3地域(福井、奥越、丹南)に分けて開催)にて、地域特性に合わせた企画(切符)を検討中。

②経路検索機能

- ・目的地までの移動を円滑にするため、経路検索機能
- ・my 駅の登録による発車時刻通知機能(例：10分前に発車)

③シェアサイクル予約機能

- ・ふくチャリ(ドコモ・バイクシェア)の予約機能

2 協議会スケジュール

| | 日程 | 協議会 | 地区部会 | アプリ開発 |
|------|--------|-------------------|--------------|-------------|
| 令和5年 | 6月 | | 第1回(企画切符の造成) | |
| | 7月 | 第1回(今後の進め方) | 関係機関との調整 | 委託契約 |
| | 8~9月 | | 第2回(企画切符の絞込) | 開発 |
| | 10~11月 | 第2回(アプリ・企画切符進捗状況) | 第3回(企画切符確定) | 動作確認(~R6.2) |
| 6年 | 2月 | 第3回(アプリ等完成報告) | | リリース |
| | 3月 | | | 利用開始 |

2 令和6年度以降の取組

(1) 日常利用を促進するための機能導入

- ・デジタル回数券、デジタル定期券 ・デマンドタクシー予約
- ・医療機関の予約を含めたルート表示 など

(2) 県内(嶺南含む)や石川県など広域展開を見据えた取組

- ・敦賀市との連携(例：ドコモ・バイクシェア) ・恐竜等を絡めた切符の造成
- ・金沢MaaSや加賀MaaSでの企画切符の相互販売

(今後の検討事項)事業費の負担について

- ・固定費(ポータルサイト維持管理費、各種機能運用費用)の負担
- ・各市町で実施する事業(例：地域イベント+交通切符)の原資の負担

ふくアプリの取組について

2023年7月6日

株式会社ふくいのデジタル

ふくいデジタルについて

ふくいデジタルは2022年9月に「デジタルトランスフォーメーションを通して、福井に暮らす人、福井を訪れた人のウェルビーイングを高めていく」ことを理念に持続可能で豊かな福井を目指し、福井銀行と福井新聞社の共同出資にて設立されました。

企業概要

| 項目 | 内容 |
|-------|---|
| 会社名 | 株式会社ふくいデジタル |
| 本社所在地 | 福井県福井市順化1丁目1番1号 (福井銀行本店内) |
| 資本金 | 金1億円 |
| 株主 | 福井銀行(50%) 福井新聞社(50%) 銀行一定高度化等会社 |
| 設立 | 2022年9月5日 |
| 事業内容 | 1. スマートフォンアプリケーションソフトの企画、管理、運営 2. 行政等からの受託事業 3. 広告代理業および 各種の宣伝に関する業務 4. マーケティング・リサーチ並びに経営情報の調査、収集及び提供 5. 地域通貨の発行・運用・管理 6. コンサルティング業務 7. 情報発信事業、その他地域の発展に寄与する事業 8. 前各号に附帯または関連する一切の業務 |

ふくアプリが目指す社会



デジタルプラットフォームとしての「ふくアプリ」を中心に、地域における決済やさまざまな情報、生活に関するサービスが利用できる「福井におけるあらゆる生活シーンをスマートライフ化」を目指しさまざまなステークホルダーの方々と協働しております

ふくいのデジタル社 2022年度事業実績

2022/10

観光庁「観光DX実証事業」RENEWPay

- ふくアプリにてRENEWで使用できる地域通貨を発行（5,000円チャージで6,000円分のお買い物が可能）
- 地域通貨によるイベント内消費における消費拡大を目指しつつ、観光決済データを地域にオープンデータとして還元し、新たな商品開発や企画につなげる仕組みに挑戦



 RENEW Pay



2023/1

ふくアプリDL数 約16万件(2023/6)



全国旅行支援事業「ふくいdeお得キャンペーン」

- 福井県に旅行に来られた方にふくアプリを使用し電子クーポンを提供
- 福井県内約3,000の事業所で決済可能



2023/2

デジタルたけポン実施

- 武生商工会議所と連携し地域クーポンの電子化を実施
- 地域のDX化を地域のプレーヤーの皆さまと協働で推進



2022/9会社設立

2023/1旅行支援開始



福井県「デジタル地域通貨」導入事業

福井県「デジタル地域通貨」導入事業趣旨

用途の制限（使用店舗、使用期限など）が可能で、個人を特定した柔軟なポイントの付与等ができる「デジタル地域通貨」を導入することで、給付金支給等における「行政事務の迅速化・費用削減」の推進に加え、「域内経済活性化」「県民の行動変容」「地域コミュニティ活性化」を促進する。

内容

給付関連

- 対象者を特定し地域通貨・ポイントで給付
- 給付金の性質に応じて使用店舗を設定

プレミアム商品券

- 地域独自のデジタル商品券を住民へ提供可能
- 市町の商品券の配布業務、窓口対応業務不要に
- 加盟店の精算負担も大幅削減

ボランティアポイント

- ボランティアイベント参加者にポイントを付与可能

健康ポイント

- ウォーキング歩数に応じてポイント付与。住民の健康増進に寄与

| | |
|-----------|----------------------------|
| 発行者 | 福井県または県内市町 |
| 発行価格 | 1コイン1円 |
| 有効期限または期限 | 発行する地域通貨の財布、ポイント、商品券により異なる |
| 対象ユーザー | 福井県民および来街者 |
| 加盟店舗 | 福井県内のデジタル地域通貨が利用できる店舗 |
| 媒体 | スマートフォンアプリ |
| 開始予定 | 令和5年11月 |

- 現在、ふくアプリにて福井県「デジタル地域通貨」導入に向けた機能開発・運営体制構築を進めております。
- またデジタル地域通貨の機能実装と合わせて、スタンプラリー等のサービスの活用を検討しております。